

両親の不仲、虐待の経験から  
親になることに戸惑う夫婦。  
出産予定日に我が子を失った夫婦。  
子どもを望んだものの  
授からない人生を受け入れた夫婦。  
完治しない障害を持つ子を育てる夫婦。  
全てが「うまれる」  
ストーリーです。

# 命と家族、絆の物語。

魂が号泣する感動の104分

# うまれる

ナレーション つるの剛士

企画・監督・撮影：豪田トモ プロデューサー：牛山朋子 コーディネーター：大葉ナナコ 音楽：古田秘馬 プロダクションデザイン：溝田明  
コメントーター：池川明 鮫島浩二 向井崇 大葉ナナコ 見尾保幸 吉村正 エンディングテーマ：「オメデトウ feat.KOHEI JAPAN」つるの剛士 (PONY CANYON INC.)

製作：インディゴ・フィルムズ / 配給・宣伝：マジックアワー © 2010「うまれる」パートナーズ LLP

企業サポーター：Combi unicharm pigeon Aprica Wakodo シヤクボウスイ ハウスホールド JBL  
[www.umareru.jp](http://www.umareru.jp)



NHKや  
朝日新聞等でも  
話題!!  
Yahoo! ムービーで  
No.1獲得!!



自分たちが産まってきた意味や家族の絆、命の大切さ、人との繋がり、  
そして“生きる”ことを考える、ドキュメンタリー映画です

# うまれる

www.umareru.jp

ナレーション：つるの剛士 企画・監督・撮影：豪田トモ  
製作：インディゴ・フィルムズ / 配給・宣伝：マジックアワー  
©2010「うまれる」パートナーズ LLP  
2010/日本 / カラー / HD-35mm/104分 / ビスタサイズ / DTS STEREO



命のドラマが書籍になりました。

「うまれるかけがえのないあなたへ」

豪田トモ著 PHP研究所 1,470円(税込)

この映画は、たんなる出産ドキュメンタリーなどではなく、出産を切り口にした『親子の物語』なのだと思う。  
親に、深く、深く、感謝した。

**乙武洋匡**

(作家)

私に関わってくれるすべての人に  
「本当に本当にありがとう」と言いたくなりました。  
また政治家という立場からも  
何ができるか考えさせられる映画でした。

**小渕優子**

(衆議院議員 元少子化対策・男女共同参画担当大臣)

生きていろいろ腹立つことあるけど、結局、うまれたから愛する人と出会えたんだ。悲しくない涙がたくさん出ました。

**鈴木おさむ**

(TBSドラマ『生まれる』脚本家)

私は子供を産まずに45歳になりました。  
でも、それは欠陥ではないよ、と言ってもらえた気がしました。  
そう思ったら涙が止まりませんでした。

**さかもと未明**

(漫画家・タレント)

主催／COM-SALOON コムサロン21 人間塾 共催／兵庫県立こどもの館

“僕はただ、両親と仲直りがしたくて、

この映画を作ったのかもしれません”

自分は愛されているんだろうか… 自分は本当にこの両親の子どもなんだろうか… 物心ついた時から、僕はそう思っていました。

4歳年下の弟が右目が半分開かない状態で産まってきたことから、両親は弟の事で精一杯。僕は「親の愛情」というものを、知らずに育った気がしていました。

自分はなぜ生まれてきたのか、何のために生きているのか… 自分の存在価値がよくわからなくなり、結婚や子どもを持つことに、全く夢を描けませんでした。

そんなある日、講演会で「赤ちゃんは雲の上で親を選んで生まれてくる」という胎内記憶の話を聞きました。

自分は好きで生まれてきたんじゃないし、子どもは親を選べないとずっとと思っていた僕は、非科学的でファンタジーな話とは思いつつ、心から感動したのです。

自分が選んだのかも、と考えると、いまの親子関係は自分にも責任があるのでは、自分も本当は愛されていたのでは… 長らく抱いていた否定的な感情が少しずつ消えていくを感じました。

「うまれる」ことを映画にしたい！命の原点に向き合うことで、僕自身、両親との関係を築き直せるかもしれない……。

それから3年あまり。何十組ものご家族、ご夫婦を取材・撮影させていただきましたが、「うまれる」ことを知れば知るほど、その奥深さと神秘に僕は圧倒されました。

産まれてくること、そして生きることは、まさに奇跡の連続。頭では分かっている命の尊さ、感じる機会ってどのくらいあるのでしょうか？ 全身の細胞全部で、映画のメッセージを受け止めていただけたらうれしいです。

企画・監督・撮影 豪田トモ

あなたの町で映画『うまれる』を上映しませんか？

自主上映会サービスの詳細 & お申込は公式HPより



**日 時** 2017年11月23日(祝・木)

第1回／11:00～13:00(開場 10:30)

第2回／14:00～16:00(開場 13:30)

**場 所** 兵庫県立こどもの館・円形劇場

〒671-2233 兵庫県姫路市太市中 915-49

【主催】認定特定非営利活動法人コムサロン21・人間塾

【共催】兵庫県立こどもの館

【後援】姫路市

【お申込みは「電話」「FAX」「メール」で受け付けております】

**定 員** (各回) 80名 (事前にお申し込みください)

**料 金**

おとな 1,000円

中高生 500円

小学生以下 無料

※お支払いは当日お願いいたします



【お申し込み・お問い合わせ】認定特定非営利活動法人コムサロン21

TEL.079-224-8803 info@com21.or.jp

## 映画「うまれる」参加申込書

FAX送信先: 認定特定非営利活動法人コムサロン21 FAX079-224-1553

フリガナ	性別	携帯電話番号
氏名	男・女	TEL. - -
お住まいの市・町	ご鑑賞人数合計	人 ご購入金額合計 円
ご鑑賞人数 (下記に枚数をご記入ください)		
第1回 大人 1,000円 人	中高生 500円 人	小学生以下(無料) 人
第2回 大人 1,000円 人	中高生 500円 人	小学生以下(無料) 人

個人情報は、本映画上映会に関するご連絡にのみ利用させて頂きます。